

同窓会の現状と今後について

同窓会長・
支部委員会委員長
内山 功



150周年を迎え 同窓会活動の活性化を

いまさら申し上げるまでもなく、同窓会活動の主体は個々の同窓生であり、その活動組織の基本は支部にあることは言うまでもありません。

同窓会は、現在、海外を含め九多数支部で同窓会活動を推進しています。この支部活動が同窓会の源泉となっているのです。

しかし、学院の本拠地である東京ブロックの同窓会活動の弱さが従来から問題になっていました。つまり東京ブロックで実質活動をしているのは、品川支部、世田谷支部、大田支部、東京多摩西部支部、東京多摩支部、東京多摩西部支部、東京多摩支部および東京へボンクラブのみで、23区の現状は大変寂しい限りであることは、昨年発行の校友会誌9号でも申し上げました。

さらに冒頭で申し上げましたとおり、海外を含めて支部は九十数支部

ありますが、実際活動をしているのは、残念ながら三分の二の六十数支部であることが現状です。

このような現状を打破し、同窓会活動の活性化をはかるべく、支部委員会と各ブロックとが協力し合って支部活動の活性化を推進しています。

近年これらの成果として、各ブロック長及び同窓生のご協力により、2011年9月に東海ブロックでは静岡県西部支部、神奈川県ブロックでは相模原支部が新規に設立されました。また本年2月には休眠状態であった静岡県中央支部が活動を再開することとなりました。そして昨年2012年12月1日には、懸案の東京ブロックにおいては、6番目の待望の東京中央支部が設立され、今年度中に7番目の港・目黒区を中心とした支部が設立される予定です。

しかし、残念なことは、支部活動が実際に行われているのは、全支部の三分の二であることにも目を向け

なければならぬと思います。今後ブロック長、支部長さんをお願いですが、是非最低年1回の支部の会合を開催されることをお願いいたします。

本部においては皆様にお願います。本誌(校友会誌)の同窓会ページを別刷りし、同窓会員の皆様にお届けすること、さらにホームページのリニューアルによりタイムリーな同窓会情報をお届けしたいと検討中です。

今更申すまでもなく、明治学院は今年(2013年)1863年のへボン塾創設から150周年を迎えます。2013年は学院において様々な150周年記念行事が開催されます。是非同窓生の皆様にも記念行事に参加され、150周年をお祝いいたしましょう。

因みに11月23日(土・勤労感謝の日)には白金キャンパスで「150

周年記念ホームカミング」を計画しております。翌日24日(日)には神宮球場において、1890年に起きたインブリー事件(明治学院と旧制

第一高等学校(現在の東京大学)の野球の応援のため、明治学院のインブリー宣教師が一高の垣根を乗り越えたことに一高の学生が石を投げつけ負傷させた事件)の発端となった

明治学院大学野球部と東京大学野球部の記念試合が行われます。近々学院本部から全ての記念行事が発表されますのでご期待ください。

最後になりますが、地方におられる方々はなかなか150周年記念行事に参加されることは叶わない同窓生もおられると思いますが、現在学校法人明治学院は「150周年記念募金」を募集しています。募金することによって行事に参加することも考えられますので、是非ご協力をお願いいたします。